

ちよだアートスクエア構想の提言

平成18年10月

ちよだアートスクエア検討会

は　じ　め　に

千代田区では、平成16年3月に策定した「文化芸術基本条例」に基づく文化芸術の施策を、総合的かつ計画的に推進するため、平成17年1月に「千代田区文化芸術プラン」を策定し、文化芸術のエネルギーあふれる魅力あるまちづくりを推進している。

文化芸術プランの実施については、プランに位置づけた施策の基本的な考え方である、「地域性・文化芸術資源の活用」、「区民の感性・主体性・創造性の尊重」及び「住み、働き、学び、集う人々の活動・交流」の3つの視点と区と区民、民間団体などの役割分担を踏まえて重点プロジェクトの具体的な取り組みを行い、目標達成に向けて事業の効果を検証していくとされている。

それを受けて、アートスクエア検討会では、平成17年度より検討を重ねてきた。その結果、千代田区には、江戸時代から積上げられてきた豊かな文化芸術資源や新たな文化を発信する基盤があることが確認された。その歴史と文化を尊重しつつ、新しい文化を生み出すためのハード及びソフトの両面から、文化芸術の拠点づくりが必要であるとの結論に達した。

ここに、ちよだアートスクエア検討会での検討結果として、千代田区ならではの文化芸術の発展に向けた「ちよだアートスクエア構想」をまとめ、千代田区あてに提言する。

ちよだアートスクエア検討会

平成18年10月 4日

提言に当たって

千代田区は政治経済機能が集中した街である一方で、新旧さまざまな文化財の宝庫でもあり、それらに出会える博物館、美術館、劇場、コンサートホールなどの施設をすぐ身近に見出せる文化芸術の街でもあります。「ちよだアートスクエア検討会」は、このうちの後者の特質を活かして区民の文化芸術活動を支援しようとする「アートスクエア構想」の検討という使命を帯びて立ち上げられました。

検討会では当初の漠としたイメージが次第に具象化され、メンバーの豊かな経験に根ざした創造的な発想が次々と提示されるようになって、自由・闊達な議論が展開されました。「ちよだアートスクエア構想の提言」はその成果として纏められたものであり、地域を愛し文化芸術に造詣の深い検討会委員各位の熱いご協力の賜物にほかなりません。検討会委員各位に深く感謝申し上げます。

今後、本提言をもとにハードおよびソフトの両面から整備を進められ、区民および昼間区民に広く受け入れられ愛されるような、さらには区民の誇りとなるような「ちよだアートスクエア」を実現されるよう期待しております。そして究極的には「ちよだアートスクエア」がその活動や情報を通じて、区の境界を超えた地域の人々をも千代田区に惹きつけるものへと発展するよう祈念いたしております。

ちよだアートスクエア検討会座長
西野 万里